

(参考) 本申請の概要

<申請理由>

- 使用済樹脂貯蔵タンクは、1次系の水質調整等のために設置している各脱塩塔から排出された使用済樹脂を、一時的に貯蔵し放射能を減衰させるために設置する。
- 現在、伊方発電所3号原子炉施設では使用済樹脂貯蔵タンク3A、3Bの2基を使用し、同施設の運用開始以降発生した使用済樹脂及び1、2号原子炉施設から移送した使用済樹脂を貯蔵している。今後、3号原子炉施設の運転に伴い発生する使用済樹脂の量を考慮すると、令和11年頃には使用済樹脂貯蔵タンク2基の貯蔵容量を超過する可能性がある。
- このため、3号原子炉施設に使用済樹脂貯蔵タンクを1基(3C)増設する計画としている。

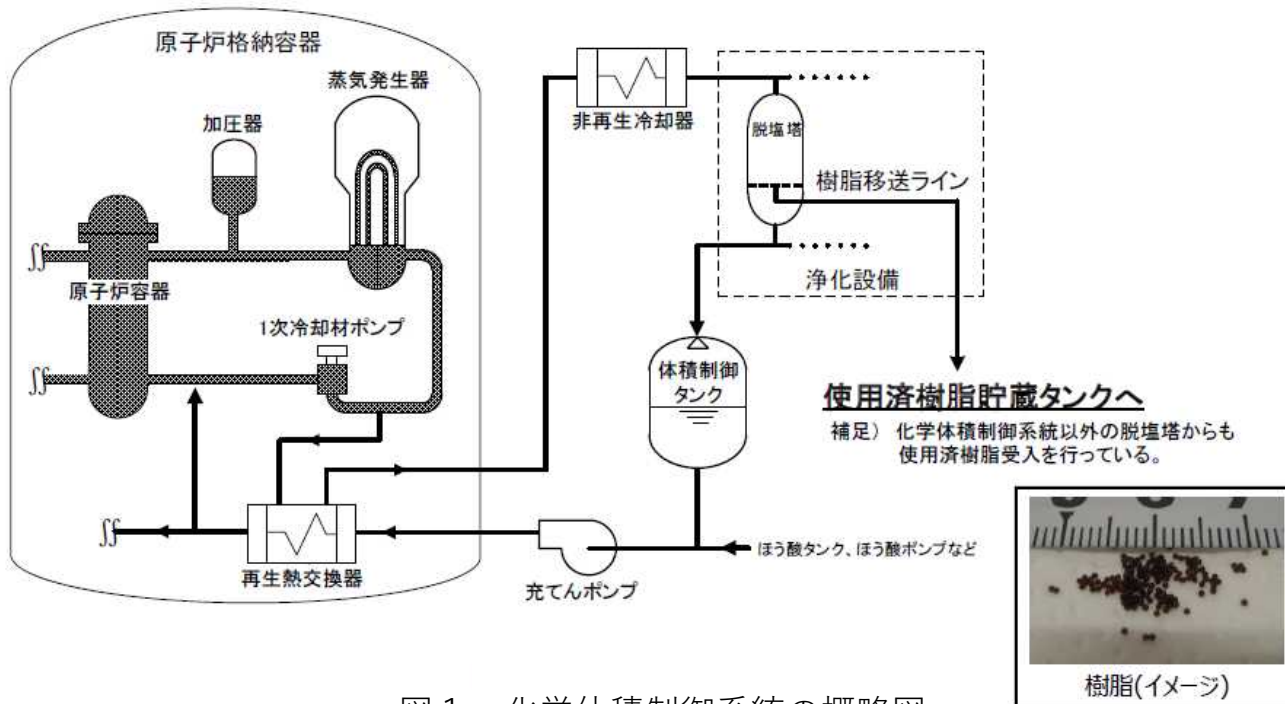


図1 化学体積制御系統の概略図

<工事概要>

- 使用済樹脂貯蔵タンク3Cは、将来の増設を想定して同施設の建築時から確保している区画に増設する。
- 使用済樹脂貯蔵タンク3Cの基本構造は既設タンクと同様であり、使用済樹脂貯蔵タンクの増設に伴い新たに遮へい壁を増設する。

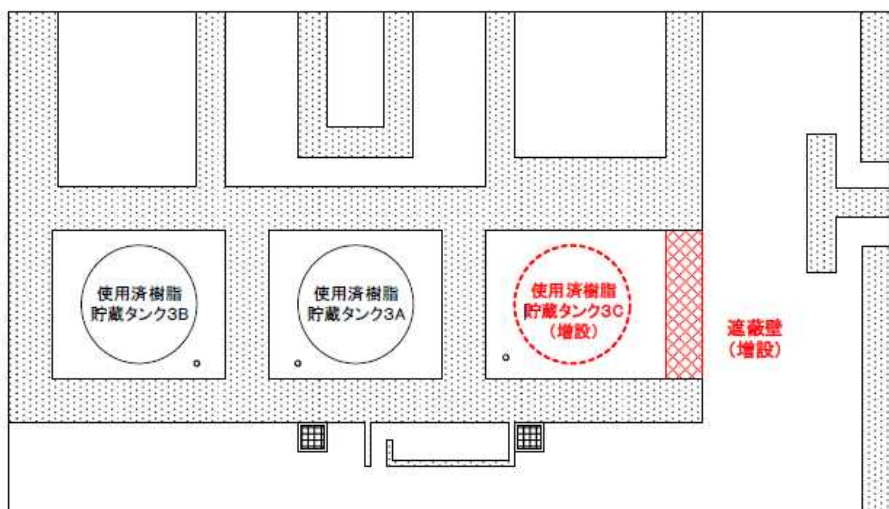


図2 使用済樹脂貯蔵タンクの配置図 (原子炉補助建屋内)

使用済樹脂貯蔵タンク3C (たて置き円筒型)		
容量	m <sup>3</sup>	77
最高使用圧力	MPa	大気圧
最高使用温度	°C	65
耐震クラス	—	B
遮へい壁 (鉄筋コンクリート製)		
壁厚	mm	1,250以上
遮へい要求	—	隣接エリア 0.01mSv/h以下
火災防護要求	—	3時間耐火
耐震クラス	—	B